

## 記者発表資料

(県政・東近江同時)



こんな話、二度と聞けないぞ！



「幻の安土城」復元プロジェクト・歴史セミナー  
安土城築城450年記念

## シンポジウム バチカンと日本・東アジア その歴史的交流

1581年(天正9年)、織田信長は安土を訪れたイエズス会宣教師アレッサンドロ・ヴァリニャーノに安土城と城下町を描いた「安土山図屏風」を贈りました。屏風は、その後天正遣欧使節の手によってローマ教皇グレゴリウス13世に贈られましたが、その後行方不明となり、現在もその所在は明らかではありません。

滋賀県では、安土城の実像を解明し、目に見える形にすることで、その魅力と価値を広く発信することを目的に「幻の安土城」復元プロジェクトを進めています。その中で、安土城を描いた唯一の絵画資料である「安土山図屏風」の探索にも取り組んでおり、屏風が贈られたバチカンとの交流を進めてまいりました。

このたび、バチカンから研究員をお招きし、長く屏風探索に取り組んでいるASRNのメンバーと一緒にシンポジウムを開催することとなりました。現地の資料の情報を聞くことができるまたとない機会です。多くの方のご参加をお待ちしています。

### セミナーの概報

- (1) 日時 令和8年6月21日(日) 14時~16時30分 ※13時30分開場
- (2) 会場 滋賀県男女共同参画センター 大ホール 滋賀県近江八幡鷹飼町80-4  
※JR琵琶湖線近江八幡駅下車徒歩約8分
- (3) 内容

14:00~15:00 講演「バチカンの日本・東アジア文化」 ※英語通訳付き  
クララ・ユ・ドン氏(バチカン図書館)

クララ・ユ・ドン

バチカン図書館の中国・極東部門の統括者。中国の古写本や貴重本の調査研究に従事。天正遣欧使節についても研究。

15:10～16:30 パネルディスカッション「バチカンと日本・東アジア その歴史的交流」

パネラー：クララ・ユ・ドン氏

マーク・アードマン氏（メルボルン大学・ASRN）

ハイメ・ゴンザレス・ボラド氏（九州大学外国人特別研究員・ASRN）

藤川真由氏（明治大学・ASRN協力者）

アントン・シュバイツァー氏（九州大学・ASRN）

新保淳乃氏（武蔵大学・ASRN）

パオラ・カヴァリエレ氏（ミラノ大学・ASRN）

木戸雅寿（滋賀県観光文化スポーツ部文化財保護課）

コーディネーター：松下浩（滋賀県観光文化スポーツ部文化財保護課）

4. 定員 400名（事前申込制 先着順）
5. 主催 滋賀県
6. 後援 ミラノ大学・イタリア文化会館-大阪
7. 協力 安土園屏風探索ネットワーク（ASRN）
8. 参加費 無料

#### 参加申込方法

1. FAX・電話・メールに、住所（市まで 番地不要）・氏名（ふりがな）・連絡先（携帯電話推奨）を記入の上、下記まで申し込み。
2. 申込締切 令和8年6月18日（木）午後5時

#### 参加申込・問い合わせ

滋賀県観光文化スポーツ部文化財保護課安土城・城郭調査係

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL：077-528-4678 FAX：077-528-4956 E-mail：castle@pref.shiga.lg.jp

城郭調査事務所 TEL：0748-46-6144